



時事評論家 増田俊男

トランプの真実

「トランプの真実」は本日発送開始の「小冊子」100 回記念号の題名である。

「民は由らしむべし、知らしむべからず」は民主主義が基本理念の今日でも古今東西政治の不文律。トランプが「マスコミはすべて Fake(偽物)だ」と言うのは正しい。

いかなる報道であれ、それを受け取る国民がどう反応するかを計算した上で編集、報道されているのだから報道は基本的にプロパガンダ(大衆誘導)である。

トランプは報道が自分の為のプロパガンダになっていないから偽物だと言っているに過ぎない。

ではトランプの利益に敵った報道は本物かと言えば、トランプの反対勢力にとっては偽物である。

では本物の報道とは何か。

それは利益を追求する報道機関にはあり得ないことである。

しかしジャーナリズムの定義は「国民の利益を判断ベースにした権力に対する監視、批判、提言すること」である。

報道機関のスポンサーは国民(消費者)と売り買いで利害相反する企業並びに報道機関の為に情報を提供し、国民とは税(義務)とサービス(権利)で利害相反する権力側であって国民ではない。

だから報道が国民側ではなく権力側に立って国民を誘導するのは当然であり宿命である。

私は読者から協賛金をいただいて出来る限りジャーナリズムの本道に沿った情報提供すべく心掛けている。

今回の小冊子 Vol.100 は、トランプが挑戦している米中貿易戦争、国際通貨戦争、朝鮮半島非核化、シリア和平、米露関係、英国 Brexit(EU 離脱)、アメリカの対欧敵視、等々でトランプは一体何のために何をしようとしているのかを分かりやすく解説することにした。

例えばトランプが米中貿易戦争で追い込もうとしている相手は中国ではなくトランプの内戦相手の中国進出米主要産業であるなど、一見あり得ないような話だが読んでみると合点がいく内容になっている。

保護貿易がいかに時代にマッチしているか、そればかりか日本経済にとって願ってもないことであること等がよくわかる。

本当(真実)を知らない人々にお話しすれば読者は驚かれ、同時に尊敬を受けること請け合いである。

とにかく「小冊子」Vol.100 回記念号は「買い」!

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、HP : www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 8月2日(木) No. 822 日米金利差
- 7月31日(火) No. 821 今日の日銀政策決定会合に世界が注目
- 7月20日(金) No. 820 金価格が下げ続けるわけ
- 7月18日(水) No. 819 乱高下相場

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。